

「いるまの」

「仲よくする子考える子やりぬく子」の育成

後期学校評価の結果から、 「学校運営改善策」立案



これまで、7月に実施した学校評価と児童・保護者前期アンケート結果を分析し、検討して立案した、下記の「後期学校運営改善策」に入間野小学校の全教職員が一丸となって取り組んできました。

- 【1】「時間いっぱいもくもくぴかぴか」清掃を実現するため、分担の適正化と掃除の仕方を再確認する。
- 【2】校内研修と模擬授業を生かし、学級活動や道徳・人権教育を充実させ、よりよい学級をつくる。
- 【3】デジタル教科書や書画カメラを効果的に活用し、大型テレビやパソコン室の利用率を上げる。
- 【4】保護者や地域の方に学校応援団の活動を紹介し、校外学習の引率等、教育活動に支援をいただく。
- 【5】2学期の「規律ある態度」の重点項目を、全校同一歩調で指導する。

- ① 教室での正しい姿勢の保持「ゲー バタ ピン サッ」②下敷きをし、丁寧な文字でノートに書くこと
- ③「時間いっぱいもくもくピカピカ」の掃除 ④毎日やり続ける宿題、家庭学習・家庭読書

その結果、どのような成果と課題が見られるのか、後期学校評価を12月に実施し、教職員の自己評価と共に、児童・保護者アンケートを実施しました。今回93%の回収率となりました。ご多用にもかかわらず、皆様のご理解とご協力をいただき、あらためて感謝申し上げます。前期と同様、この結果を分析し、今後の学校運営改善策を立案しました。後期学校評価の結果は、裏面をご覧ください。概要は、以下の通りです。

後期学校評価の結果の概要

教職員の自己評価では、①家庭学習の習慣化 ②朝マラソンの取り組みを始めとする体力向上 ③見直しの仕方を始め粘り強く問題に取り組む態度の育成 が重点課題となりました。また、教職員と児童・保護者のアンケート結果を、裏面のように連動させて考察すると、④丁寧な文字の指導 ⑤挨拶や返事、丁寧な言葉づかい を継続して指導し、身につけさせていく必要があります。

これまでに、各種学力調査の結果から考察し、取り組んできた学力向上策<下記参照>では、

- 【1】国語タイムの内容を検討し、水曜日業前の時間に言葉のきまりや書き取り等、計画的に実施する。
- 【2】課題に対する「自分の考え」をもたせ、書かせてから話し合い、練り上げ、まとめる授業とする。
- 【3】国語科の研究授業を通して手立てを構築し、並行読書に取り組み、読書に親しませ量を増やす。
- 【4】学校版「家庭学習の手引」を作成し、学年の段階に応じた系統的な家庭学習ができるようにする。

【4】の「家庭学習の手引き」の作成が急務ではありますが、現時点では、原案を作成し、系統性を検討している最中です。来年度実施へ向け、「家庭学習の手引き」【保護者用】と【児童用】を考案し、年度当初から実施していきます。学力向上策の効果として実施した「教育に関する3つの達成目標効果の検証」の結果は、いかがでしたでしょうか。基礎的・基本的な「読む・書く」「計算」のテスト内容となっています。誤答は、理解させてから返却するようにしていますが、当該学年の学習の復習として、家庭学習の内容に、ぜひ、ご活用ください。

入間野小学校平成27年度後期学校評価

*a(4点) b(3点) c(2点) d(1点) として点数化

*3.4点以上はA 2.8点以上~3.4点未満はB 2.8点未満はC



NO	項目	教職員	児童	保護者
1	児童は、相手に届く声で話している。	B 2.9	B 3.3	B 3.2
2	児童は、文字を丁寧に書いている。	B 3.3	B 2.9	B 2.8
3	児童は、進んで家庭学習に取り組んでいる。	B 2.9	B 3.1	B 2.9
4	児童は、自分から目を見て挨拶をしている。	B 3.1	B 3.3	B 2.9
5	児童は、丁寧な言葉づかいをしている。	B 3.1	B 3.3	B 2.9
6	児童は、集団のために活動に取り組んでいる。	B 3.1	B 3.2	B 3.2
7	児童は、あきらめずに最後まで取り組んでいる。	B 3.1	A 3.4	B 3.2
8	児童は、進んで運動に取り組んでいる。	B 3.1	A 3.4	B 3.2
9	児童は、いざという時の行動の仕方が分かっている。	A 3.4	A 3.7	B 3.0
10	学校は、計算や漢字などの基礎基本を身につけさせている。	A 3.4	A 3.7	B 3.4
11	学校は、自ら考える力をつけている。	B 2.9	A 3.5	B 3.1
12	学校は、安心して過ごせるあたたかな学級をつくっている。	B 3.2	B 3.1	B 3.3
13	学校は、規律ある態度を身につけさせている。	A 3.4	B 3.4	B 3.2
14	先生は、困ったときに相談に乗ってくれる。	A 3.4	A 3.5	B 3.3
15	学校は、体力を向上させるための環境づくりに取り組んでいる。	B 3.2	A 3.8	B 3.4
16	家庭では、健康診断の結果を子供たちの健康管理に生かしている。	B 3.1	B 3.2	B 3.2
17	学校は、美しい環境を保持している。	B 3.3	B 3.4	B 3.2
18	学校は、教育活動を充実させるため、地域や保護者の支援を生かしている。	B 3.2	A 3.6	B 3.4
19	学校は、学年・行事等の会計の処理管理を適切にしている。	A 3.4		A 3.5
20	職員は、意図的・計画的に学年・学級経営を進めることができた。	B 3.2	※以下は、教職員の自己評価結果をお知らせしています。	
21	職員は、校内研修に意欲的に取り組み、自己研鑽に努めた。	B 3.3		
22	職員は、報告、連絡、相談を密にし、意欲的に職務遂行に取り組んだ。	B 3.3		

※前期と比較し、**●●**は、-2ポイント、**○○**は、+2ポイントを表示しています。

来年度へ向けた教育活動改善策改善策

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。2学期末に、この結果や各種学力調査を分析し、3学期始め、下記の「来年度へ向けた教育活動改善策」を立案しました。

- 【1】朝マラソンの取り組み方を自主的で意欲的な取り組みせ方にする。(学年単位で担任が声をかける等)
- 【2】「家庭学習の手引き」を本年度中に完成させ、来年度、年度当初から取り組めるようにする。
- 【3】見直しの仕方を具体的に指導し、時間いっぱいテストに向かう粘り強い姿勢を身につけさせる。
- 【4】保護者や地域の方にも気持ちのよい挨拶ができるよう、引き続き指導する。(届く声、自分から、等)
- 【5】「規律ある態度」の重点項目を、5項目とし、全校同一歩調で指導する。

- ①教室での正しい姿勢の保持「グー ペタ ピン サッ」②下敷きをし、丁寧な文字でノートに書くこと
- ③「時間いっぱいもくもくピカピカ」の掃除(清掃中、音楽を流さずに、「もくもく」を実施してみる。)
- ④毎日やり続ける宿題、家庭学習・家庭読書 ⑤教室で、チャイムが鳴ったら、すぐ「起立」

※PTA活動に関するご意見は、本部役員に伝えます。トイレには、消臭剤を置いてみることにしました。